

有限会社久米産業
2023 年度 環境経営レポート
(対象期間: 2023年 4月 ~ 2024年 3月)

発行日: 2024年4月1日
改定日: 2024年7月12日

ご挨拶

有限会社久米産業は、産業廃棄物の収集運搬を活動範囲とする企業です。昭和63年の設立以来、多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で32年を迎えました。

この度当社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一歩を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境方針

当社は、本業である産業廃棄物収集運搬業及び中間処理業を通じて、地球温暖化への対処や地域環境の保全と改善活動に自主的・積極的に取り組むことで、環境を重視した経営を継続的に改善してまいります。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に取り組めます。(電力、ガソリン、軽油、灯油)
3. 廃棄物の削減と、受託した産業廃棄物のリサイクルに取り組めます。
4. 自社発生の廃棄物を適正に処理します。
5. 水使用量の削減に取り組めます。
6. 環境に配慮した収集運搬及び処分に取組めます。
7. 地域とのコミュニケーションを推進します。

この環境経営方針は全従業員に周知します。

(制定日: 2017年4月1日)

改定日: 2023年4月1日

代表取締役社長 有本 英輔

II. 組織の概要(情報公開項目に*印付記)

(1) 名称及び代表者名

有限会社久米産業

代表取締役 有本 英輔

(2) 所在地

本社(登記上) 〒708-1521 岡山県久米郡美咲町藤原468番地7

美咲営業所 〒708-1521 岡山県久米郡美咲町休石480番地6

中間処理工場 〒708-1521 岡山県久米郡美咲町飯岡1655番地1

積替保管場 〒708-1521 岡山県久米郡美咲町藤原1376番地2他4筆

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業部 藤井 友弘 TEL:0868-62-2275

担当者 営業部 藤井 友弘 FAX:0868-62-2177

E-mail:t_fujii@a-do.ne.jp

(4) 事業内容

①産業廃棄物収集運搬業

②産業廃棄物中間処理業

③特別管理産業廃棄物収集運搬業

(5) * 法人設立年月日 : 昭和62年10月1日

(6) * 資本金 : 1,000万円

(7) 事業の規模 (2021年度実績)

* 売上高 550百万円

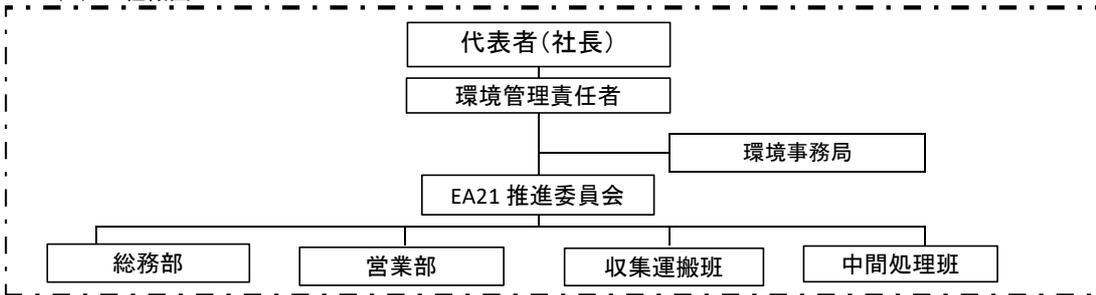
廃棄物収集運搬量 20,403トン

廃棄物中間処理量 171トン

	本社	美咲 営業所	中間 処理場	積換 保管場	合計
従業員	0名	18名	2名	0名	20名
延べ床面積	100㎡	483㎡	1,032㎡	3,336㎡	

(8) 事業年度 4月～翌年3月

(9) * 組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(10) * 許可の内容

■産業廃棄物処理業許可

(1) 中間処理施設

許可番号	岡山県 第03328032701号
許可の年月日	令和2年12月16日
許可の有効期限	令和7年10月19日
事業計画の内容	主として岡山県の事業所から収集し、分別、破碎して再生材として提供する。
事業の範囲	処分業(中間処理)
事業の区分	中間処理(破碎)
処理施設の種類の	破碎施設
処理する廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
処理能力	5t未満/日(7h)

■産業廃棄物収集運搬業許可

①特別管理産業廃棄物収集運搬業(巻末に詳細記載)

代表例↓

許可番号	岡山県許可 3358032701
業の区分	特別管理産業廃棄物収集運搬業(積替保管なし)
許可年月日	令和6年6月16日
許可期限	令和11年2月15日
事業の範囲	(1) 積替え又は保管の有無 無 (2) 取り扱う特別管理産業廃棄物の種類 廃ポリ塩化ビフェニル等、ポリ塩化ビフェニル汚染物及びポリ塩化ビフェニル処理物(これらのうち低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物に限る。) 廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、廃石綿等、燃え殻、汚泥、鉍さい、ばいじん、以上12種類

②産業廃棄物収集運搬業(巻末に詳細記載)

代表例↓

許可番号	岡山県許可 3318032701
業の区分	産業廃棄物収集運搬業(積替保管あり)
許可年月日	令和2年12月1日
許可期限	令和7年8月21日
事業の範囲	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く。)(自動車等破砕物を含む。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)(自動車等破砕物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)、陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。)(自動車等破砕物を含む。)、鉍さい、がれき類、ばいじん(これらのうち石綿含有産業廃棄物を含む。これらのうち水銀使用製品産業廃棄物を含む。)
積替保管施設	岡山県久米郡美咲町藤原字下原ラ字下モ原381番地1、381番地4、381番地8、字清水1376番地2、1376番地3

■産業廃棄物収集運搬用車両

区分	名称	台数	名称	台数
運搬車輛	10tアームローム	3	2tパワーゲート	1
	10tダンプ	3	2t平ボディ	3
	10t水密ダンプ	3	10tブロー	6
	13tウイング	1	14tタンクローリー	1
	13t平ボディ	1	15t危険物ローリー	1
	7tクラムダンプ	1	6t危険物ローリー	1
	8tユニック	1	トラクターヘッド	2
	4tユニック	1	24k危険物セミローリー	1
	8tアームローム	1	22kセミローリー(タンパー)	1
	4tアームローム	2	18kセミトレーラー	1
	4tダンプ	1	低床(回送)トレーラー	1
	2tアームローム	2	高圧洗浄車	2
重機	パワーショベル	7	アタッチメント	1
	フォークリフト	6		

(積替え保管施設)

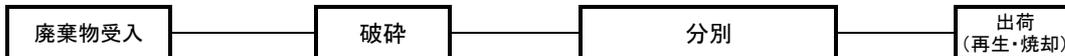
保管面積	保管上限	積替え保管を行う廃棄物の種類
3,336m ²	541m ³	上記【②産業廃棄物収集運搬業種類】記載同等

■産業廃棄物処分施設

(1)中間処理

施設の種類	破砕施設
処理する廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず
処理能力	5t未満/日(7h)
処理方式	二軸破砕方式

(処理工程図)



III. 認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：	有限会社久米産業
対象事業所：	美咲営業所、中間処理場、積替保管場
対象外：	無し
活動：	産業廃棄物及び特管産業廃棄物の収集運搬業、産業廃棄物の中間処理業

IV. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	531,825	454,337	539,946
電力使用量	kWh	47,506	48,107	42,700
ガソリン使用量	L	6,033	5,569	4,182
軽油使用量	L	187,575	158,602	193,293
一般廃棄物排出量	kg	271	269	269
受入廃棄物のリサイクル率	%	100	100	100
水使用量	m ³	902	941	1,426

※化学物質は使用しない

② 受託した産業廃棄物の処理量

別紙-2

2023年度(2023年4月～2024年3月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)	
(i)収集運搬	廃アルカリ	/	1,573	
	廃プラスチック		4,117	
	汚泥		4,018	
	燃殻		3,126	
	金属くず		54	
	特管廃酸		236	
	特管アルカリ		5,446	
	特管廃油		805	
	廃PCB		1,028	
収集運搬量合計			20,403	
(ii)中間処理	廃プラスチック	破砕	92	
	木くず	破砕	79	
	うち 再資源化等	廃プラスチック	燃料として再資源化	92
		木くず	燃料として再資源化	79
		再資源化等量小計		171
中間処理合計			171	

V. 環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

年度 項目	年	基準値	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
		(基準年度) 2020年度	目標	目標	目標	目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	521,701	516,484	511,267	506,050	502,173
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	(△3%)
① 電力使用量削減	kWh	47,034	46,564	46,093	45,623	45,153
	kg-CO ₂	25,728	25,470	25,213	24,956	24,698
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	(△4%)
② ガソリン使用量削減	L	3,047	3,017	2,986	2,956	2,926
	kg-CO ₂	7,074	7,003	6,933	6,862	6,793
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	(△4%)
③ 軽油使用量削減	L	186,767	184,899	183,032	181,164	179,352
	kg-CO ₂	490,140	485,239	480,337	475,436	470,682
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	(△4%)
II. 廃棄物排出量の削減	kg	297	294	291	288	285
① 一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	(△4%)
② 受入廃棄物の リサイクル率の向上	リサイクル率	100	100	100	100	100
	対基準(-)	—	—	—	—	—
III. 水使用量の削減	m	760	752	745	737	730
	対基準(%)	100	(△1%)	(△2%)	(△3%)	(△4%)
V. グリーン購入の推進 (2023年度以降は目標から 外す)	購入金額	353,045円	300,000円	300,000円	—	—
	対基準(%)	—	基準値維持	基準値維持	—	—
VI. 収集運搬における環境配慮 (収集運搬車の燃費向上) (収集運搬量:t/軽油使用量:L)	t/L	0.093t/L	0.094t/L	0.095t/L	0.096t/L	0.097t/L
	対基準(%)	—	(+1%)	(+2%)	(+3%)	(+4%)

※電力による二酸化炭素排出量は、中央電力(株)の平成29年度の二酸化炭素排出係数 0.538 kg-CO₂/kWh(調整後排出係数)を用いて算出した。

※化学物質使用量の削減目標は未使用の為、記載していません

(2) 運用期間中の実績

項目	年度	運用期間における実績				
		2020年年度	運用期間(2023年4月～2024年3月実績)			
		基準値	目標	実績	達成度(%)	評価
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂ 対基準(%)	521,701 100	506,050 (△3%)	539,946	94	△
① 電力使用量削減	kWh kg-CO ₂ 対基準(%)	47,030 25,725 100	45,619 24,954 (△3%)	42,700 23,357	107	○
② ガソリン使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準(%)	3,047 7,074 100	2,956 6,862 (△3%)	4,182 9,708	71	×
③ 軽油使用量削減	L kg-CO ₂ 対基準(%)	186,767 490,140 100	181,164 475,436 (△3%)	193,293 507,267	94	△
II. 廃棄物排出量の削減	kg	297	288	269	107	○
① 一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△3%)			
② 受入廃棄物の リサイクル率の向上	リサイクル率 対基準(-)	100 ---	100 -	100 -	100	○
III. 水使用量の削減	m ³ 対基準(%)	965 100	955 (△3%)	1,426	67	×
IV. 収集運搬における環境配慮 (収集運搬車の燃費向上) 分母 委託収集運搬量 分子 軽油使用量	t/L 対基準(-)	0.093t/L	0.096t/L	0.106t/L	110	○

※化学物質使用量の削減目標は未使用の為、記載していません

注) 評価欄 ○: 達成(100%以上)、△: やや未達成(80%以上)、×: 未達成(79%未満)

VI. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量総量の削減		
・下記の通り	○	環境経営計画は達成しました。
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・節電運動の継続	○	防犯対策の為、目標未達成に終わりましたが、全社員への意識の向上が図れたと感じています。今後は、時間に関係なく人のいない場所では消灯を心がけるようにしていきます。左記項目は、今後も引き続き推進していきたい。 次年度取組目標 ・節電運動の継続 ・グリーン日除け設置(ゴーヤ) ・太陽光発電採用
・グリーン日除け設置(ゴーヤ)	×	
・太陽光発電採用	×	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)		
・効率的なルートで営業	○	計画的な営業を心がけたので効果はありましたが、さらに検討して推進して行きたいと思います。省エネ走行の日々実践 次年度取組目標 ・効率的なルートで営業 ・エリア別営業活動の見直し ・低燃費車に更新1台 ・バイオ燃料の使用
・エリア別営業活動の見直し	○	
・低燃費車に更新1台	○	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(軽油)		
・エコドライブ10の実行継続	○	計画的な収集運搬を心がけたので効果はありましたが、さらに検討して推進して効率アップをして行きたいと思います。 次年度取組目標 ・効率的なルートで収集 ・エコドライブ10の実行継続
・効率的、計画的収集	○	
一般廃棄物の削減		
・コピー紙の裏紙使用	○	裏紙の使用、事務用品の節約は、全社員が積極的に実施しています。継続活動意識を根付かせ、さらに実施します。 次年度取組目標 ・コピー紙の裏紙使用 ・事務用品の節約
・事務用品の節約	○	
受入れ廃棄物のリサイクル率の向上		
・分別の徹底	○	リサイクル意識の向上を図り、引き続き分別の徹底を推進してまいります。 次年度目標 ・手選別の徹底 ・分別の徹底 ・リサイクルルートの拡大 ・客先への分別の徹底依頼
・客先への分別の徹底依頼	△	
・手選別の徹底	○	
・リサイクルルートの拡大	△	
水使用量の削減		
・洗車管理(時間・回数・高圧洗浄)	△	目標は未達でしたが、今後も再度目標達成を行えるように取り組みを進めます。 次年度目標 ・節水運動 ・洗車管理(時間・回数・高圧洗浄)
・節水運動	○	
収集運搬における環境配慮(収集運搬車の燃費向上)		
・効率的ルート収集	○	従業員全員の意識の向上がみられます。 次年度目標 ・燃費向上運動(効率的ルート収集、エコドライブ、計画収集、適正空気圧、点検整備等)
・エコドライブ推進	○	
・計画的収集の実施	○	
・適正空気圧、点検整備等	○	

Ⅶ. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	受入廃棄物の分別・保管・適正処分	遵守
消防法	指定可燃物の届出、消防設備の適正管理	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
道路運送車両法	車両の日常、定期点検、整備及び記録	遵守
浄化槽法	浄化槽の設置の届出、保守点検、清掃、水質定期検査の実施	遵守
フロン排出抑制法	四半期に1回以上の簡易点検を行い3年間保存する	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

又、訴訟等もありませんでした

Ⅷ. 代表者による全体の評価と見直し,指示

【総括】

今年度エコアクション21に取り組んだ結果、年々従業員の環境活動に関する意識の向上が随所にみられるようになっていきます。

各自が責任感を持ち環境に配慮することが出来ています。

まだ、目標未達成部分ではありますが、今後も引き続き、エコアクション21の取り組みを推進して、環境活動に関する意識を高めてより良い会社に改善するよう努力して参ります。

【個別評価・指示】

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	<input type="checkbox"/> 変更なし
環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 変更あり	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし
実施体制	<input type="checkbox"/> 変更あり	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし

2024年4月1日

代表取締役社長 有本 英輔

□環境活動の紹介



<5S活動の実施>



<訓練・ミーティング>

